

プロジェクト・ギートステイトは、批評家の東浩紀、小説家の桜坂洋、エンジニアの鈴木健が立ち上げた、未来予測エンターテインメント創造プロジェクトである。「いまここにある現在を起点とした、まったく新しい未来社会を描き出す」を目的として、2006年春に始動した。

このプロジェクトは、エンターテインメントであるとともに未来予測でもある。桜坂洋は、ライトノベルの手法を用いて、SFに未来の想像力を回復させることを試みる。東浩紀と鈴木健は、2004年から2006年まで、国際大学グローバル・コミュニケーション・センターで開催していた研究会、「情報社会の倫理と設計についての学際的研究」、略称「ised」の成果を注ぎ込む。そこに描きだされるのは、かつてなくリアルで、現在と地続きで、しかもセンス・オブ・ワンダーに満ちた未来社会像になるはずだ。

このプロジェクトでは、人文・社会的見地からの未来予測、それに伴う論理・状況設定を東浩紀が、情報技術的見地からの未来予測、それに伴う論理・状況設定を鈴木健が、上記設定を生かしたサイエンス・フィクションの物語構成を桜坂洋が担当する。物語のすべてを桜坂洋が担当するわけではなく、今後、新たな発表媒体が加われば、同じ設定の上にくつもの物語が搭載されることも考えられる。

プロジェクト・ギートステイトの一次発表媒体はウェブである。今秋に立ち上がる公式サイト (<http://geetstate.org/>) では、物語の層（第1層）、世界設定の層（第2層）、それを支える分析（第3層）が有機的にリンクされ、未来社会が網羅的に記述される予定である。本書は、その先行紹介版として、コミック・マーケット70で頒布されている。

なお本誌には、プロジェクトの紹介とともに、特別収録として、第45回日本SF大会会場で行われた、東浩紀、桜坂洋、新城カズマの3人による鼎談が収められている。プロジェクトのひとつのコンテクストを示す資料として、お読みいただきたい。

2045年の世界へようこそ！



geet state handbook : re-imagine our imagination of the future

## ギートステイト・ハンドブック

004

2045年の世界

006

特別収録 SFとライトノベルの未来

東浩紀×桜坂洋×新城カズマ

026

未来設定

東浩紀+鈴木健

032

企画会議議事録抜粋

東浩紀+桜坂洋+鈴木健

044

あとがき・奥付



hajou books 3